

## 学校経営のポイント

### “協力的人間関係の形成”確立の取組みを

若井 彌一

“省みて 不義理やいくつ 去年もまた 重ね永  
ろう 我を 嘲り”

毎年のことながら、1年をふり返ると、義理を欠  
いてしまったいくつかの(否、いくつもの)ことが  
思い出され心が重くなる。これを少々自嘲気味に表  
現したのが、冒頭の貧歌。

あけまして、おめでとうございます。本年も、な  
にとぞよろしくおつきあいのほど、お願い申しあげ  
ます。

#### 7,000人を割った“交通事故死者数”

年明けて1月2日、昨年1年間の交通事故死者数  
が6,871人とどまり、昭和31(1956)年以来、じ  
つに49年ぶりに7,000人の大台を下回ったことが  
報じられた。

7,000人近くもの人々が亡くなっているのだから、  
この結果を手放しで喜んでいるわけにはいかないに  
しても、「交通事故死者数の推移」という観点から  
すれば、相対的には明るいニュースである。

わが国では、事態の深刻さを表現するものとして、  
「受験戦争」「交通戦争」が久しく使われてきた。  
交通戦争は、死者数の多さが戦死者の数に類する  
ほどに深刻であることに着目して使われてきた。

ようやく7,000人の大台を割ったとはいえ、確か  
に深刻な数の推移である。最近、約20年間の交通  
事故死者数の推移をふり返っておく(年 元号  
死者数の順)。

昭和60	9,261	昭和61	9,317
昭和62	9,347	昭和63	10,344
平成元	11,086	平成2	11,227
平成3	11,105	平成4	11,451(最高数)
平成5	10,942	平成6	10,649
平成7	10,679	平成8	9,942

平成9	9,640	平成10	9,211
平成11	9,006	平成12	9,066
平成13	8,747	平成14	8,326
平成15	7,702	平成16	7,358

これは、交通事故が発生して、即死その他24時  
間以内の死者数の推移であり、30日以内死者数をみ  
ると、上記の数字に例外なく1,000人以上も上積み  
した数値になる。

#### “安全確保+協力的人間関係”確立の取組み

交通事故死者数が減少したことについて、警察庁  
は、「シートベルトの着用率向上や道路交通法改正  
による厳罰化、救急医療の発達と車の安全性向上な  
ど」を要因にあげているという(1月2日、Asahi.  
comによる)。常識的に想定されるいくつかの要因  
であり、これらいくつかの要因が相補的または相乗  
的に作用した結果とみることができる。

このように、ある事態が負の状態から正の状態へ  
移行する場合(たとえば、いじめ、校内暴力、性非  
行等)、単一の要因ではなく複数の要因が作用しあ  
うことが想定される。

各学校では、昨年来大きな問題となっている児  
童・生徒の通学等の安全確保に意を用いることに加  
え、一歩進めて、児童・生徒の協力的人間関係の確  
立を基本的課題として掲げ、それに必要とされるい  
くつかの要因に着目し、基本的な規範意識、最低限  
の知識、具体的な対応の仕方(行為)等の理解と実  
践力の向上に努めるようにしたい。

この国を変えてゆく、学校からの取組みである。  
(わかい・やいち=上越教育大学教授・附属小学校長併任)

《論点演習》学校経営の刷新  
最新校内研修テキスト! 菱村/若井/小松編 2625円

●最新刊 好評発売中! ● 高階玲治【編】A5判200頁・定価2310円 教育開発研究所・刊

答申の40論点を徹底解説 今後の学校教育の方向が具体的にわかる!

## 『ポイント解説 中教審「義務教育改革」答申』